

第5次善通寺市総合計画 進行管理表

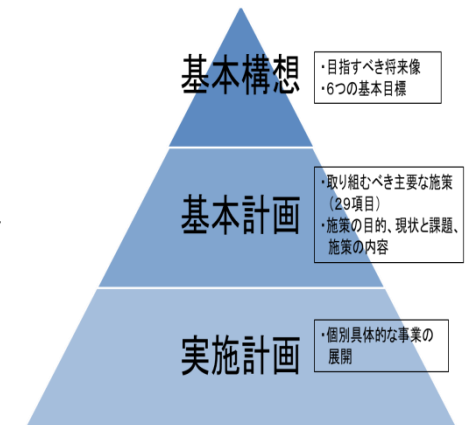
平成29年3月31日現在

1. 第5次善通寺市総合計画の構成

第5次善通寺市総合計画は、本市の最上位計画として、平成23年度からの10年間のまちづくりの方向性を示すもので、「基本構想」において「住んでみたい・住みつづけたい まち 善通寺」を目指すべき将来像に掲げ、6つの基本目標を定めています。

この6つの基本目標に基づき、今後取り組むべき主要な施策（基本施策）を各分野にわたって定めたのが「基本計画」です。平成27年度にその内容を見直し、改めて後期5年の「基本計画」として決めました。

「基本計画」では、29項目の基本施策ごとに、施策の目的・現状と課題・施策の内容などを取りまとめ、「実施計画」の中で個別具体的な事業を展開しながら、目指すべき将来像の実現を図ります。



2. 進捗管理の目的と成果指標

第5次善通寺市総合計画では、10年間という長期間にわたるまちづくりの方向性を示しておりますが、社会経済情勢の急激な変化に的確かつ柔軟に対応できるよう、必要に応じて計画の見直しを図るためには、総合計画の進捗状況や到達点を定期的に点検評価する必要があります。

また、市民との参画と協働を推進する中で、透明性のある行政運営を図るため、市民にわかりやすく成果の見えやすい総合計画の推進を図る必要もあります。

そこで、「基本計画」の中の29項目の基本施策において、目標とする118件の「成果指標と目標値」を設定し、総合計画の進捗管理を行うこととしています。

3. 平成28年度における成果指標の達成状況

目標とすべき118件の成果指標のうち、平成28年度における、業務上のデータから76件の実績値を取得し、目標達成に向けての進捗状況の確認を行いました。

その結果、32件の成果指標において、平成32年度の目標として設定している指標等を達成しています。

第5次普通市総合計画 進行管理表

総合計画の体系				関係課	総務課
基本目標	1 参画と協働、地方分権時代のまちづくり	基本施策	1-1 市民主体のまちづくりの推進	施策の主管課	政策課

施策の内容	平成28年度末 進行状況	施策の内容	平成28年度末 進行状況
① 市民との情報共有の推進	ホームページによる情報共有の推進については、平成28年4月1日から29年3月31日までの平均月間アクセス数が39,900件を上回り、さらに伸びを見せている。より一層の共有をはかるため、平成26年11月より、市公式Facebookの運営を開始している。	② 市民参画の手続きの適正運用	自治基本条例及び同条例施行規則に従い、市民参画の実施に努めた。 平成28年度には、市の計画の策定や条例等の制定、改廃の際にパブリックコメントを3件実施した。 また、広報ぜんとうじ6月号にて、平成29年度の予算編成に関する意見を募集したところ、14件の意見をいただき、各担当部課において予算対応についての検討を行った。
③ コミュニティ活動の推進	地域の各種団体が自ら主体的に創意工夫し、実施する地域づくりや自主的な活動を促進し、市民の意思が活かされた独自性と魅力のある地域社会の創造を図ることを目的として「地域提案型事業」を実施した。 平成28年度には、地域の各種団体から事業の提案をいただき、30事業を実施した。	④ コミュニティ施設の充実	地域提案型事業において、地区公民館や小学校等の教育関連施設を利用し、防災訓練やコミュニティ推進等の各種事業が実施され、既存施設の有効活用が図られた。

成果指標の名称	単位	平成21年度 (実績)	平成27年度 (中間目標)	平成28年度 (実績)	平成32年度 (目標)
市ホームページ閲覧件数(月平均)	件	15,000	25,000	39,900	41,000
市の広報・広聴活動の状況についての満足度	%	30.5		-	
コミュニティ活動(地域活動)・ボランティア活動への参加状況	%	23.7		-	

具体的な事業・取組み
① 情報公開制度の適正運用 ② 市政に関する情報提供の充実 ③ パブリックコメント・ワークショップの積極的な実施 ④ コミュニティ活動の推進 ⑤ コミュニティ施設の充実 ⑥ 地域提案型事業

第5次善通寺市総合計画 進行管理表

総合計画の体系				関係課	生涯学習課・教育総務課・隣保館・高橋会館
基本目標	1 参画と協働、地方分権時代のまちづくり	基本施策	1-2 男女共同参画・人権尊重社会の形成	施策の主管課	人権課

施策の内容	平成28年度末 進行状況	施策の内容	平成28年度末 進行状況
① 男女共同参画プランの策定	平成25年3月に善通寺市男女共同参画プラン策定し、男女共同参画社会の実現に向け、市民や関係機関・団体にプランの周知及び男女共同参画に関する啓発を実施した。また、プランに示した基本目標や重点プラン等施策体系ごとに、各課の事業実績、計画を集約し、進行管理にも務めている。	② 人権教育・啓発の推進	市民一人ひとりが人権について正しく理解し、お互いに尊重し合うことにより、差別や偏見のない社会の実現に向け、人権政策審議会で市の人権啓発の方針や基本的方向性を定めた「善通寺市人権教育・啓発の基本指針」に基づき、家庭・地域・職場・学校などのあらゆる場に応じた人権施策を実施している。その他、人権教育として人権擁護委員による人権出前教室、企業向けの人権出前講座の開催、また、同和問題の早期解決のために広報での周知等、人権教育、啓発を効果的かつ継続的に推進した。
③ 人権問題に関する相談体制の充実	あらゆる人権に対する理解と認識の徹底を図るために、広報や人権啓発活動を実施することにより、幅広く市民に人権の大切さを周知するとともに、悩みや心配ごとの早期解決するために、相談内容に応じて、相談窓口を周知した。また、法務局から委嘱された8名の人権擁護委員による人権相談を毎月実施している。		

成果指標の名称	単位	平成21年度 (実績)	平成27年度 (中間目標)	平成28年度 (実績)	平成32年度 (目標)
審議会などにおける女性委員の比率	%	18.9		27.3	
市の男女共同参画の状況についての満足度	%	16.0		-	
人権講演会や研修会の開催回数	回	2	10	14	12
人権啓発事業の実施回数	回	7	10	11	12
市の人権尊重の状況についての満足度	%	17.4		-	

具体的な事業・取組み	
① 人権啓発推進事業	② 人権・同和教育指導事業
③ 男女共同参画プラン策定事業	④ 人権問題に関する相談体制の充実

第5次善通寺市総合計画 進行管理表

総合計画の体系				関係課	秘書課・税務課
基本目標	1 参画と協働、地方分権時代のまちづくり	基本施策	1－3 自律する自治体経営の推進	施策の主管課	政策課

施策の内容	平成28年度末 進行状況	施策の内容	平成28年度末 進行状況
① 定員の適正化	正規職員の増員に向け、平成27年度退職9名、再任用期間満了8名に対し、平成28年度新規採用16名及び再任用4名による補充を図り、年度当初における正規職員数は270名となった。（平成27年度当初の職員数と比較し、3名増。）	② アウトソーシングの推進	効果的、効率的な行政運営のため、公の施設の運営管理について指定管理者制度を活用する等、アウトソーシングを推進した。
③ 組織機構の見直し	平成25年3月に策定した「第四次善通寺市行政改革大綱」に基づき、コンパクトな組織機構において、部署内での情報共有を徹底し、効率的な行政運営に努めた。	④ 人事管理などの見直し	職員個々の実務能力の向上等を目的として外部研修機関による能力開発研修等を最大限活用するとともに、全庁的な意識啓発が必要とされる課題については、独自研修を実施することに対応した。また、可能な限り、個人の適正や能力を考慮した人員配置に努めた。 ○能力開発研修等：市町村アカデミー、国際文化アカデミー、市町職員研修センター、早稲田大学人材マネジメント部会等 ○独自研修：勤務評定及び人事評価制度に関する研修、労働安全衛生研修等
⑤ 自主財源の確保	地方税ポータルシステム（eLTAX）や固定資産評価システム（GIS）を活用し、適正かつ迅速な課税処理を行っているほか、無申告者や過少申告者等に対しては、国・県・市の三税協力による課税資料等の情報収集を行い、公平な課税に努めている。滞納者に対しては、文書・電話催告等により自主納付を促すとともに、法律に基づき債権・財産の差押えを行う等の滞納処分を行っており、平成28年度の市税の徴収率は前年度の95.33%を上回る95.57%となった。	⑥ 財政計画の策定	本年度、固定資産台帳の整備が完了しており、今後、その分析結果を活用した、財務書類を作成するとともに、財政計画を策定する予定である。
⑦ 枠配分予算の導入	各部署単位での経営感覚やコスト意識の醸成を図り、包括的なコスト削減につなげることを目的として、各部に予算を枠配分し、その枠内で各部が自己決定、自己責任のもとに事業運営を行う枠配分予算制度の導入を検討中である。		

成果指標の名称	単位	平成21年度 （実績）	平成27年度 （中間目標）	平成28年度 （実績）	平成32年度 （目標）
実質公債費比率	%	15.9		5.4	
経常収支比率	%	89.7		90.5	
市税徴収率	%	93.62		95.57	
職員数	人	287	265	270	
人件費及び人件費に準ずる費用の割合	%	23.6		22.4	

具体的な事業・取組み	
① 定員適正化の推進	② アウトソーシングの推進
③ 新善通寺市機構改革計画に基づく機構改革の推進	④ 人事管理などの見直し
⑤ 適正課税の推進及び徴収率の向上	⑥ 財政計画の策定
⑦ 枠配分予算の導入	

第5次善通寺市総合計画 進行管理表

総合計画の体系				関係課	
基本目標	2 福祉先進、だれにもやさしいまちづくり	基本施策	2-1 子育て支援の充実	施策の主管課	子ども課

施策の内容	平成28年度末 進行状況	施策の内容	平成28年度末 進行状況
① 次世代育成支援事業の推進	子ども・子育て支援事業に基づき、利用者支援事業を実施し、子育て支援コーディネーターによる子育てに関するケースマネジメントや利用援助等を行ったほか、市ホームページ「子育てほっとCOM善通寺」や「子育て応援マップ」などによる子育て支援情報の提供を行った。 また、南部保育所、カナン子育てプラザ21、吉原保育所の3か所の地域子育て支援センターにおいて育児相談等地域の子育て家庭に対する育児支援を行ったほか、つどいの広場事業を実施し、子育て支援の充実を図った。	② 母子保健の充実	妊娠、出産に対する不安解消のため、助産師・保健師による全戸訪問を実施したほか、乳幼児の成長支援のため、健康診査、乳幼児相談等を実施し、母子保健コーディネーターによる切れ目のない支援を行った。 ・妊産婦・新生児訪問 訪問率99.2%(H28年度生まれを対象) ・妊婦健診 対象229名(受診票使用率91.1%) ・4か月児健診 受診率99.6%(対象児271名) ・1歳6か月児健診 受診率100%(対象児291名) ・3歳児健診 受診率99.2%(対象児259名) ・5歳児健診 受診率99.3%(対象児302名) ※健診未受診者については電話や訪問等により受診勧奨を行った。
③ 保育サービスの充実	多様化する保育ニーズに対応するため特別保育の充実を図ったほか、保育環境改善のため施設整備を行った。 ・延長保育⇒認可保育所(園)全6か所で実施した。 ・病児、病後児保育⇒カナン子育てプラザ21と西川クリニックで実施した。 ・休日保育⇒カナン子育てプラザ21で実施した。 ・一時保育⇒カナン子育てプラザ21と吉原保育所で実施した。 ・障害児保育⇒カナン子育てプラザ21で実施した。 ・保育所で必要な箇所について随時修繕を行った。 ・保育対策総合支援事業を南部保育所・吉原保育所で実施した。	④ 要保護児童などへの対応の推進	要保護児童対策地域協議会(平成28年度実績:代表者会議1回、実務者会議3回、個別ケース検討会議23回)にてケースの進行状況を協議し、各関係機関と連携しながら迅速に支援対象児童等への対応を行った。(平成28年度ケース進行管理児童43人、特定妊婦2人) また、児童虐待防止に向けて、市で作成した啓発グッズを、行事や市内のイベントで配布、関係機関に向けて児童虐待防止に関する研修等の啓発活動を行った。
⑤ 相談・援助体制の充実	育児不安や子育ての悩みの解消を図るため、保健師、助産師、栄養士等によるマタニティ教室(年12回)、すくすく教室(年12回)、乳幼児相談(年24回)、離乳食・幼児食講習(年24回)、子ども発達相談(年12回)等を行ったほか、各保育所において、子育て相談を実施した。また、子どもを心身ともに健康に育てるために、大事な食育・運動・読書を3つの柱とした親子の学びの事業を実施した。 子育て家庭の経済的負担を軽減するため乳幼児、児童等の医療費の助成を実施し、子育て支援の充実を図った。		

成果指標の名称	単位	平成21年度 (実績)	平成27年度 (中間目標)	平成28年度 (実績)	平成32年度 (目標)
延長保育実施保育所数	箇所	7	⇒	6	⇒
子ども・家庭支援センター利用者数	人	20,000	⇒	20,839	⇒
子育て支援体制の状況	%	25.0	⇒	-	⇒
子育て支援に関する活動参加希望率	%	18.2	⇒	-	⇒

具体的な事業・取組み	
① 地域子育て支援センター事業	② 延長保育
③ 一時保育	④ 休日保育
⑤ 障害児保育	⑥ 病児・病後児保育
⑦ 発達障害児支援体制整備事業	⑧ 利用者支援事業
⑨ 子育て支援医療費助成事業	⑩ つどいの広場事業
⑪ 妊産婦・新生児等訪問指導	⑫ 妊婦・乳幼児健康診査
⑬ 乳幼児健康診査	

第5次善通寺市総合計画 進行管理表

総合計画の体系				関係課	社会福祉課
基本目標	2 福祉先進、だれにもやさしいまちづくり	基本施策	2-2 保健・医療の充実	施策の主管課	保健課

施策の内容	平成28年度末 進行状況	施策の内容	平成28年度末 進行状況
① 健康づくり意識の高揚と主体的活動の促進	市民の健康意識の向上と生活習慣の改善を図るために、各地区公民館、市役所などで健康相談を実施した。健康相談では、体組成、骨密度、血圧、検尿などの測定も行い、45回の開催で延べ1,120人が参加した。 生活習慣病予防を目的に、健康づくり講座を実施した。6か月の期間に全体会、栄養教室、運動教室など計40回開催し、延べ306人が参加した。また、この講座の修了者を対象に、その後の2年間はフォローとして運動教室等を継続して実施し、19回で延べ253人が参加した。	② 各種健診の充実	生活習慣病の早期発見、早期治療、予防意識の普及啓発を図るために健康診査、人間ドック、各種がん検診を実施した。健診(検診)については、人間ドック、市内医療機関での健診(検診)、集団検診と市民の受けやすい方法で実施し、健康推進委員会を通じて受診勧奨を行った。がん検診の受診率については、国の方針により対象者が住民全体に統一されたことにより市民全体が対象となり率は低くなったものの、受診者数は前年度より増加している。保健師による家庭訪問は、健診後の指導を要する者、がん検診精密検診未受診者などを中心に行った。
③ 精神保健福祉対策の推進	毎月広報誌に精神保健福祉相談を掲載したことにより、平成28年度の精神保健福祉相談・訪問件数は延べ1,587件であり、「ふれあいポート善通寺」事業には延べ556人が参加した。また、「ストレス測定器」を市役所1階ロビーに常設するなど、適切なサービスを提供した。	④ 歯科保健の推進	平成28年6月5日、歯と口の健康週間行事として、6歳までの乳幼児を対象に歯の検診、はみがき指導等及び成人を対象とした口腔がん検診を実施した。この行事には、317人の乳幼児の参加があり、口腔がん検診には、48人が受診した。成人歯科保健に関しては、1歳6か月児健診を受診する幼児の保護者を対象に歯科健診、衛生指導を実施し、151人が受診した。
⑤ 感染症対策の推進	インフルエンザやノロウイルスなどの感染症の流行時には広報・ホームページへの掲載、健康推進委員会を通じてのチラシの配布により市民に対して注意喚起を行った。	⑥ 食育の推進	地区組織と協働して、地域での栄養教室、生活習慣病予防のための栄養教室、食文化を伝えるための講習会、男性の食育教室、小学校・幼稚園での栄養教室など市民の食意識の向上のための活動を行った。また、食生活改善推進員を要請する講座を開催し、新たに13名が推進員となった。推進員のスキルアップを目的とした研修も開催した。
⑦ 救急医療の充実	休日外来で対処し得る患者への初期救急医療を確保するため、在宅当番医制事業を本市と仲多度郡の3町が協定の上、仲多度・善通寺医師会に委託して実施した。 また、中讃医療圏域における夜間救急患者の受入体制を整えるため、圏域の3市5町が協定し、救急医療体制を持つ5病院が行う病院群輪番制病院事業に対し、補助を行った。		

成果指標の名称	単位	平成21年度 (実績)	平成27年度 (中間目標)	平成28年度 (実績)	平成32年度 (目標)
保健事業への参加者数	人	20,094	20,500	24,232	23,000
各種がん検診受診率 ※	%	32.7	40.0	19.1	50.0
成人歯科健康診査実施数	人	147	200	151	300

具体的な事業・取組み	
① 保健衛生管理事業	② 在宅当番医制事業
③ 病院群輪番制病院事業	④ 健康生きがい中核事業(健康運動教室)
⑤ 健康診査及び各種がん検診等の受診事業	⑥ 予防接種
⑦ 食育推進事業	⑧ 狂犬病予防事業
⑨ 歯と口の健康週間行事	⑩ ヘルススクール等健康教室実施事業
⑪ 地区組織育成	⑫ 精神保健福祉対策の推進
⑬ 感染症対策の推進	

※ 対象者数(分母)のとりえ方が、平成28年度から変更となったため、実績値が減少している。

【変更前:(国勢調査による40歳以上の市の人口-就業者数+農林水産業従事者数-要介護4、5認定者数) → 変更後:国勢調査による40歳以上の市の人口】

第5次善通寺市総合計画 進行管理表

総合計画の体系				関係課	
基本目標	2 福祉先進、だれにもやさしいまちづくり	基本施策	2ー3 高齢者福祉の充実	施策の主管課	高齢者課

施策の内容	平成28年度末 進行状況	施策の内容	平成28年度末 進行状況
① 高齢者支援推進体制の整備	窓口や電話での相談や情報提供、広報紙による高齢者へのアドバイスやサービスの情報提供を行った。	② 地域支援事業の推進	平成28年度から新しい介護予防・日常生活支援総合事業を実施し、新しい訪問・通所型サービス等を実施した。また、地区社協・民生委員と連携し、支援が必要な高齢者の把握に努めるとともに、地域包括ケア推進会議や協議体を開催し、地域課題や地域資源等の把握を行い、高齢者の問題解決にあたった。さらに、地域包括支援センターを中心に居宅介護支援事業所と連携し高齢者を支援するとともに、認知症初期集中支援チームによる支援を実施した。また、家族介護教室の開催や夜間休日の電話相談も実施した。
③ 保健福祉サービスの推進	短期集中型の運動器機能・口腔機能向上事業(悠遊元気教室)を96回、認知症機能予防支援事業(のびのび元気教室)を47回それぞれ実施した。	④ 生きがいづくりと社会参加の促進	高齢者の学習や交流を支援するため老人クラブに活動助成するとともに、高齢者の就業支援のため仲善シルバー人材センターに交付金を交付し、高齢者が豊かな生活を送れるよう支援に努めた。
⑤ 高齢者が住みよいまちづくりの推進	介護予防サポーターフォローアップ研修を開催し、高齢者が住みなれた地域で安心して生活していくために必要な見守り活動事業を実施するとともに、在宅医療・介護情報マップの作成及び認知症の方やその家族が安心して暮らせるよう認知症ケアパスを作成した。また、65歳以上のひとり暮らし高齢者等の急病や災害等の緊急時に迅速に対応するため、緊急通報装置の貸与等により、高齢者が住みよいまちづくりを推進した。		

成果指標の名称	単位	平成21年度 (実績)	平成27年度 (中間目標)	平成28年度 (実績)	平成32年度 (目標)
シルバー人材センター会員数	人	1,229		1,062	
要介護認定率	%	13.4		16.4	
高齢者支援体制の満足度	%	28.5		-	
健康維持への取組みをしている高齢者割合	%	68.0		-	

具体的な事業・取組み	
① 敬老行事・高齢者訪問	② 緊急通報体制整備等事業
③ 老人無料・生きがい入浴券交付事業	④ 市民バス運行事業
⑤ 高齢者の就労の場の確保および支援	⑥ 生きがい対応型ディサービス事業
⑦ 老人クラブ活動事業	⑧ 地域見守り体制整備事業
⑨ 訪問型サービス事業	⑩ 通所型サービス事業
⑪ 介護予防ケアマネジメント事業(第1号介護予防支援事業)	⑫ 介護予防事業対象者把握事業
⑬ 介護予防普及啓発事業	⑭ 地域介護予防活動支援事業
⑮ 介護予防事業評価事業	⑯ 高額介護予防サービス費相当事業費、審査支払手数料等
⑰ 地域包括支援センター管理事業等	⑲ 総合相談支援事業
⑲ 権利擁護事業	⑳ 包括的・継続的ケアマネジメント事業
㉑ 介護給付等費用適正化事業	㉒ 家族介護教室開催事業
㉓ 成年後見制度利用支援事業	㉔ 福祉用具・住宅改修支援事業
㉕ 地域自立生活支援事業	㉖ 在宅医療・介護推進事業
㉗ 生活支援体制整備事業	㉘ 認知症総合支援事業
㉙ 地域ケア会議推進事業	㉚ 在宅ねたきり老人等介護手当

第5次善通寺市総合計画 進行管理表

総合計画の体系				関係課	
基本目標	2 福祉先進、だれにもやさしいまちづくり	基本施策	2-4 障がい者福祉の充実	施策の主管課	社会福祉課

施策の内容	平成28年度末 進行状況	施策の内容	平成28年度末 進行状況
① 障害者総合支援法に基づく障がい者支援の充実	障がい者の生活に応じた支援を実施し、居宅介護の利用者57名、施設入所支援の利用者41名であり、障害福祉サービス全体の実利用者は205名であった。障がい者の相談支援事業は、「ふらっと」及び「はなぞの」に委託して実施しており、福祉サービスの利用や健康問題等の相談が9,593件あった。また、社会福祉課においても、精神保健福祉士を配置し相談業務を実施しており、同様の相談が843件あった。	② 障がい者の生活の安定	広報ぜんつうじ7月号に、「市民福祉年金について」の記事を掲載することで、制度の周知に努めた。市民福祉年金の受給者は359人、特別障害者手当の受給者は68人であり、障がい者の生活の安定に寄与した。

成果指標の名称	単位	平成21年度 (実績)	平成27年度 (中間目標)	平成28年度 (実績)	平成32年度 (目標)
訓練等給付(就労支援など)の支給決定者数	件	27		75	
移動支援事業の支給決定者数	件	49		67	
地域活動やスポーツ・文化活動に参加している障がい者数	人	26		38	
相談支援事業所(身体・知的)の利用件数と実利用人数 ※	件 (人)	2,847 (177)		8,891 (225)	
相談支援事業所(精神)の利用件数と実利用人数	件 (人)	570 (25)		702 (49)	

※ 相談支援事業所の利用件数のカウント方法が、平成23年度に見直されたため、比較対象の元となる平成21年度の実績値を修正

具体的な事業・取り組み	
① 障害者介護費及び施設利用費給付事業	② 障害者訓練費及び就労支援費給付事業
③ 障害者生活相談支援等事業	④ 障害者人工透析等医療費給付事業
⑤ 障害者車椅子及び装具等給付事業	⑥ 障害者医療費助成事業
⑦ 障害者福祉年金等給付事業	⑧ 精神障害者居場所づくり事業(ふれあいポート善通寺)

第5次善通寺市総合計画 進行管理表

総合計画の体系				関係課	保健課・市民課
基本目標	2 福祉先進、だれにもやさしいまちづくり	基本施策	2ー5 社会保障の充実	施策の主管課	社会福祉課

施策の内容	平成28年度末 進行状況	施策の内容	平成28年度末 進行状況
① 国民健康保険事業の適正運営	国民健康保険被保険者で退職被保険者の資格を有する者について、公簿等で確認できる場合には職権での適用を行った。 また、定期的に医療費通知及びジェネリック医薬品使用促進のお知らせを送付し、国保制度や医療費に対する関心を高めるとともに、重複・頻回受診者や糖尿病療養者の自宅を定期的に訪問して生活指導を行うなど、医療費の適正化に努めた。 さらに、国民健康保険税の適正な賦課総額の確保に努めるとともに、口座振替を推進することで徴収率の向上に努めた。	② 国民年金制度の周知	広報ぜんつうじや市のホームページを活用して、老齢基礎年金、障害基礎年金、遺族基礎年金等の給付に関する内容や保険料の免除・納付猶予制度、後納制度、口座振込など保険料に関する内容についての周知を行った。(広報誌7回掲載)また、市民課窓口パンフレットを用意し制度の周知を図った。 ケースワーカーと連携して、生活保護受給者に対して資格取得届出や保険料免除申請等の提出を勧奨するなど、保険料未納期間の解消に取り組んだ。
③ 生活保護制度等の適正運用	生活保護行政に対する市民の理解と信頼を損なうことがないよう、公正・公平・正確に運営するため要保護者の相談に適切に応じるとともに、他法他施策の積極的な活用や国・県等関係機関との連携を図り、真に保護を必要とする者に対しては、きめ細やかな援助に努めるとともに、就労可能な被保護者に自立を促すために、就労支援員によるハローワークでの求職活動の支援を行った。		

成果指標の名称	単位	平成21年度 (実績)	平成27年度 (中間目標)	平成28年度 (実績)	平成32年度 (目標)
国民健康保険税徴収率	%	79.0	81.0	81.2	83.0
国民健康保険税口座振替率	%	45.9	48.0	36.6	50.0
生活保護から自立した世帯数	世帯	12	15	37	18

具体的な事業・取組み	
① 要援護者就労支援事業	② 生活扶助費等支給事業
③ 医療費適正化事業(健康づくり事業)	④ 特定健康診査等事業
⑤ 国民年金制度の周知	⑥ 国民健康保険税に係る徴収率の向上

第5次善通寺市総合計画 進行管理表

総合計画の体系				関係課	
基本目標	2 福祉先進、だれにもやさしいまちづくり	基本施策	2ー6 地域福祉の充実	施策の主管課	社会福祉課

施策の内容	平成28年度末 進行状況	施策の内容	平成28年度末 進行状況
① 福祉意識の高揚	第2次善通寺市地域福祉計画に基づく、ネットワークづくり、拠点・活動の場づくり、地域福祉活動リーダーの育成等の事業を推進し、推進会議にて取り組み状況報告や意見交換を行った。	② 社会福祉協議会、関係団体などの活動支援	地域の状況に応じた福祉活動を行っている善通寺市社会福祉協議会の事業を助成し地域社会を基盤とする福祉サービスの連絡調整を図り、地域住民の連携による地域福祉・在宅サービスを推進した。 また、社会福祉協議会が行う主な事業である居宅要援護者把握・災害時要援護者登録事業の継続的かつ安定的な活動を支援することで、地域の日常的な見守り活動を中心に災害時の避難指示等に活用するとともに、登録者に安心キットを配布し、緊急時に迅速な対応ができる安心安全な地域づくりを推進した。 地域福祉活動の拠点として建設した善通寺市地域支え合いセンターここ家において、新規事業として、生きがいひろば事業や通所サービス事業を推進した。
③ ユニバーサルデザインのまちづくり	高齢者や障がい者の活動範囲の拡大を図るために、民間事業者との連携を図り、市民が利用する施設のバリアフリー化を呼びかけている。		

成果指標の名称	単位	平成21年度 (実績)	平成27年度 (中間目標)	平成28年度 (実績)	平成32年度 (目標)
福祉ボランティア登録者数	人	807	850	865	900
ボランティア登録団体数	団体	31	33	39	35
社会福祉協議会会員世帯	世帯	9,209		8,831	

具体的な事業・取組み
① 社会福祉協議会活動支援事業 ② しあわせプランぜんつう推進事業 ③ 民生児童委員活動支援事業 ④ ユニバーサルデザインのまちづくり

第5次普通市市総合計画 進行管理表

総合計画の体系				関係課	学校給食センター
基本目標	3 賤と教育、人を育てるまちづくり	基本施策	3-1 学校教育の充実	施策の主管課	教育総務課

施策の内容	平成28年度末 進行状況	施策の内容	平成28年度末 進行状況
① 学力の向上	「学校支援のための市費講師雇用事業」においては市費雇用による講師が、小学校では図画工作科(1名)、音楽科(1名)、外国語活動(英語4名)の指導を、中学校では補充学習(1名)を行った。また、小学校では「土曜日充実事業」として、月に1度、4年生以上を対象に、国語、算数などにおける基礎的な内容の定着を図る授業を行った。幼稚園においては「幼児教育力総合化支援事業」において、文字遊び(3名)、音楽遊び(1名)の指導者を雇用し、幼児教育の充実を図った。	② 特別支援教育の推進	平成28年度は、生活支援員を幼稚園に20名、小学校に33名、中学校に2名を配置し、要支援園児・児童・生徒が安心して園・学校生活を送れるように支援を行った。
③ 心の問題への対応	「いじめ防止対策事業」として、全小中学生を対象としたhyper-QUテストを実施するなどして、不登校、いじめの早期発見を図った。また、県のスクールカウンセラー派遣事業を活用するとともに、教育委員会にスクールソーシャルワーカーを2名配置し、小・中学校に派遣して、教職員との連携のもと、問題を抱える児童・生徒やその家庭への対応を行った。	④ 子どもの安全の確保	保護者や地域との連携、補導員の活用により、子どもたちの見守り活動の推進を図った。
⑤ 学校教育施設・設備の整備充実	吉原小学校において、老朽化した消火設備の改修工事を行ったほか、中央小学校外1校の防火戸改修工事及び東部・竜川両小学校の運動場整備工事の実施設計を行った。 東中学校において屋外トイレ改修工事を行った。 筆岡幼稚園外壁等改修工事を行うとともに、中央幼稚園外壁等改修工事及び竜川幼稚園トイレ改修工事の実施設計を行った。	⑥ 教育機器の整備	各小学校において、タブレットパソコン及び電子黒板等の周辺機器等のICT機器を導入し、次期学習指導要領に向けたアクティブ・ラーニングの推進を図った。
⑦ 学校給食の充実	児童生徒の成長期における健康な体づくりに、家庭で不足しがちな栄養素を取り入れ、栄養バランスに配慮した給食を実施していく。 また、豊かな心の育成を目指し、四季折々の伝統行事にちなんだ料理・各地の郷土料理を積極的に取り入れることにより、地域との連携を強化し、郷土への関心を持ってもらえるよう努める。		

成果指標の名称	単位	平成21年度 (実績)	平成27年度 (中間目標)	平成28年度 (実績)	平成32年度 (目標)
児童生徒の長期欠席率(小学校)	%	0.9		0.2	
児童生徒の長期欠席率(中学校)	%	6.9		3.2	
地元産品を取り入れた給食の実施回数	回	201		204	
学校教育環境についての満足度	%	26.2		-	

具体的な事業・取組み	
① スクールカウンセラー配置事業	② プール改修事業
③ 学校給食センター改築事業	④ 学校支援のための市費講師雇用事業
⑤ 小学生学力向上等対策事業	⑥ 土曜日充実事業
⑦ 小学校放課後学力向上等対策事業	⑧ 中学生学力向上等対策事業
⑨ 幼児教育力総合化推進事業	⑩ 特別支援教育の推進
⑪ 子どもの安全の確保	⑫ 小学校タブレットパソコン活用事業
⑬ 学校給食の充実	⑭ パワーアップ事業
⑮ スタディアフタースクール事業	⑯ 幼稚園茶道体験教室
⑰ 幼稚園園舎外壁等改修事業	⑱ シティズンシップ育成事業
⑲ いじめ防止対策事業	⑳ 地域学習副読本作成事業

第5次普通市総合計画 進行管理表

総合計画の体系				関係課	教育総務課・建築住宅課・市民会館・図書館
基本目標	3 賡と教育、人を育てるまちづくり	基本施策	3-2 生涯学習社会の確立	施策の主管課	生涯学習課

施策の内容	平成28年度末 進行状況	施策の内容	平成28年度末 進行状況
① 社会教育関連施設の充実	吉原公民館改築事業として、旧吉原保育所除却後の跡地を含む外構工事を行った。	② 図書館の充実	市民の多様な調査研究や趣味に応えるために、図書館資料の充実を図るとともに地域の情報収集と発信に努めた。企画展では、食育をテーマに「学校給食と香川の生産物展」を開催した。 また、講演「図書館で生涯学習を始めよう」や「図書館の郷土資料をもって出かけよう」を継続し、学習の機会を提供した。児童サービスでは、四国学院大学との連携により、「留学生による外国語絵本の読み聞かせ会」を実施した。また、NPO法人子育てネットくすくすの事業所や児童センターへ児童書の貸出を行い幼児期における読書活動推進に努めた。
③ 特色ある生涯学習プログラムの整備と提供	地域の交流を図り、趣味や生きがいを発見するなど、高齢者の社会参加推進を目的に、「イキイキときめき大学」「寿大学」「婦人中央学級」等を実施した。 ○イキイキときめき大学…登録者数595人 年間8校区12～16回開催 延べ2,845人参加 ○寿大学…登録者数431人 年間12回開催 延べ1,745人参加 ○婦人中央学級…登録者数233人 年間11回開催 延べ1,211人参加	④ 教育団体などへの活動支援	婦人会・PTA・子ども会が独自の事業を展開できるよう公的支援に努めた。 ○婦人会…親子運動会・婦人文化展等婦人会活動の支援・協力 ○PTA…非行防止キャンペーン・ソフトボール大会・ソフトバレーボール大会等PTA活動の支援・協力 ○子ども会…校区親善相撲大会・普通寺まつりへの参加・ソフトボール大会等の支援・協力

成果指標の名称	単位	平成21年度 (実績)	平成27年度 (中間目標)	平成28年度 (実績)	平成32年度 (目標)
地区公民館利用者数	人	103,520	105,000	91,790	108,000
市民会館利用者数	人	154,230	157,000	128,985	160,000
図書館利用者数	人	101,089	103,000	127,900	135,000
図書の市民一人当たり貸し出し冊数	冊	3.8	4.0	4.5	4.5
生涯学習関連の講座・教室の参加者数	人	7,949	8,500	5,801	9,000
市の生涯学習環境についての満足度	%	20.1		-	

具体的な事業・取組み
① 市民会館耐震改修整備事業 ② 地区公民館耐震改修整備事業 ③ 生涯学習関連の講座・教室の開催 ④ 教育団体活動支援事業 ⑤ 図書館利用促進事業

第5次善通寺市総合計画 進行管理表

総合計画の体系				関係課	教育総務課・建築住宅課
基本目標	3 躰と教育、人を育てるまちづくり	基本施策	3-3 生涯スポーツの振興	施策の主管課	生涯学習課

施策の内容	平成28年度末 進行状況	施策の内容	平成28年度末 進行状況
① スポーツ施設の整備充実・有効活用	市内小中学校体育施設を開放し、地域住民が気軽にスポーツに親しめる場を提供するとともに、学校と地域社会の共同利用を促進した。また、市営野球場の防球ネットの貼替え等、利用者の利便性向上や安全確保のためのスポーツ施設の整備に努めた。	② 多様なスポーツ活動の普及促進	小学生を対象とした初心者スポーツ教室では、レスリング・少林寺拳法・空手・柔道・剣道・ソフトテニスの種目で実施し、新しいスポーツを体験することで、スポーツに親しむ習慣を身につけるとともに、健康・体力作りの育成を図った。また、瀬戸内中讃定住自立圏域市町と連携して、プロスポーツ(香川オリーブガイナーズ・香川ファイブアローズ・カマタマーレ讃岐・香川アイスフェローズ)の観戦やスポーツ教室等を実施した。
③ スポーツ団体、指導者の育成	スポーツ推進委員の育成及び各地区体育振興会、体育協会、スポーツ少年団等の活動を育成・助成し、生涯スポーツ活動の活性化を支援した。		

成果指標の名称	単位	平成21年度 (実績)	平成27年度 (中間目標)	平成28年度 (実績)	平成32年度 (目標)
体育施設利用者数	人	231,091	240,000	239,145	250,000
社会体育事業参加者数 ※	人	4,197		39,845	
初心者スポーツ教室参加者数	人	89	100	74	140
スポーツ環境の満足度	%	23.8		-	
週1回以上スポーツ活動をしている人の割合	%	22.0		-	

※参加者数の見直し(学校施設(体育館、屋内運動場)での社会体育活動実数)をしたことにより、実績値が増加したもの。

具体的な事業・取組み
① 体育施設耐震調査 ② 体育施設管理運営事業 ③ スポーツ団体活動支援 ④ スポーツ事業の開催

第5次善通寺市総合計画 進行管理表

総合計画の体系				関係課	
基本目標	3 賤と教育、人を育てるまちづくり	基本施策	3-4 青少年の健全育成	施策の主管課	教育総務課

施策の内容	平成28年度末 進行状況	施策の内容	平成28年度末 進行状況
① 青少年の非行など問題行動の防止	6月1日に補導員の委嘱式及び研修会を行い61名に委嘱をした。 8校区、月2回巡回できる予定表を作成し、臨時補導を含め148回、延べ424人で補導を実施した。 白ポスト1基から、有害図書260冊、DVD175本、ビデオ13本を回収し、環境浄化に努めた。	② 家庭における青少年育成への支援	電話や来所で6件の相談があり、学校へ連絡して対応したり、専門の相談機関を紹介するなどした。スクールソーシャルワーカーとも情報を共有し、児童・生徒の学校での様子を見守ることに努めた。
③ 広報啓発活動の強化	夏休み前に、市内小中学生全員に相談のリーフレットを配布した。	④ 青少年の健全育成活動の促進	青少年を健全に育成するには、青少年が地域のコミュニティ活動等に参加し、豊かな生活体験を得ることが重要であるため、市内各種育成団体間の連絡調整に努めた。
⑤ 調査・研究・研修及び情報収集・提供機能の充実	中讃少年サポートセンターに対して、中学校の月間予定を通知するなど情報を提供することで、補導活動に活用してもらうなど、情報交換を行った。 相談業務担当者研修会に参加した。 スクールソーシャルワーカーや学校と随時情報交換を行った。	⑥ 適応指導教室の開設	スクールソーシャルワーカーや学校との連携を密にし、速やかに対応できるよう努めた。 平成29年3月の時点では5名が通級。うち3名は中学3年生であり、希望する高校へ進学できた。 お菓子作り、サポート校による出前授業などの活動も実施した。

成果指標の名称	単位	平成21年度 (実績)	平成27年度 (中間目標)	平成28年度 (実績)	平成32年度 (目標)
青少年補導件数	件	58		17	
市の青少年の健全育成環境についての満足度	%	14.2		-	

具体的な事業・取組み	
① 少年育成センター事業	② 不登校児童生徒適応指導教室設置事業

第5次善通寺市総合計画 進行管理表

総合計画の体系				関係課	
基本目標	3 賡と教育、人を育てるまちづくり	基本施策	3-5 地域文化の継承・創造	施策の主管課	生涯学習課

施策の内容	平成28年度末 進行状況	施策の内容	平成28年度末 進行状況
① 芸術・文化団体、指導者の育成	各種芸術・文化団体の育成・支援に努めるとともに、文化協会・文化財保護協会との連携、指導者やボランティアの育成・確保を図り、市民の自主的な芸術・文化活動の一層の活発化を促した。	② 文化イベントなどの充実	地域の特色を生かした文化祭、講演会や展覧会の開催など魅力ある文化行事の企画・開催を市民との協働のもとに進め、既存施設を活用した多様な芸術・文化を鑑賞する機会と活動成果を発表する機会の充実に努めた。自主事業としては、古文書購読講座、優秀映画鑑賞事業、アンサンブルヴィオールコンサートなどが定着してきた。
③ 文化財の保存	指定文化財の適正な保護に努めるとともに、その他の文化財や埋蔵文化財についても計画的に調査を推進した。また、民俗芸能などの無形文化財についても、保存団体の育成・支援、後継者の確保を図り、積極的にその保存・伝承に努めた。平成28年度は、開発に伴う試掘調査(生野原遺跡隣接地)、保存目的の確認調査(岡5号墳)を実施した。また、平成26年度に国指定史跡となった讃岐遍路道曼荼羅寺道の案内板設置・パンフレットの配布を実施した。	④ 文化財の活用	文化財の活用については、地域文化の理解を深めるため、啓発活動や講座、展示など文化財に対する市民への意識の向上を図ります。また、文化財を通じた情報発信と交流活動での活用を図ります。平成28年度は王墓山古墳及出土遺物の保存処理を行ったほか、発掘調査により出土した遺物の復元整理や台帳整備などを行い、今後の利活用の基礎作業を行った。また、埋蔵文化財調査を行った地域で地元現地説明会、及び調査成果展を実施した。

成果指標の名称	単位	平成21年度 (実績)	平成27年度 (中間目標)	平成28年度 (実績)	平成32年度 (目標)
文化イベント参加者数	人	3,000	3,500	3,700	4,000
文化財保護協会会員数	人	197	220	162	200
文化活動団体登録数	団体	120	125	107	130
市の文化芸術環境についての満足度	%	19.0		-	
市の文化遺産の状況についての満足度	%	32.8		-	

具体的な事業・取組み
① 文化・芸術関連行事の実施 ② 文化・芸術団体組織の充実・支援 ③ 旧善通寺偕行社の利活用 ④ 埋蔵文化財の調査

第5次善通寺市総合計画 進行管理表

総合計画の体系				関係課	生涯学習課
基本目標	3 奨と教育、人を育てるまちづくり	基本施策	3-6 交流活動の推進	施策の主管課	教育総務課

施策の内容	平成28年度末 進行状況	施策の内容	平成28年度末 進行状況
① 交流推進体制の確立	四国学院大学の姉妹校である韓国の韓南大学の学生が、中央小学校を訪問し、韓国の絵本や遊び、韓国語のあいさつなどを教えてもらう授業を行ったり、一緒に給食を食べるなどして交流を行なった。	② 地域間交流の促進	平成28年度は、東西両中学校の生徒が8月4日～5日の2日間、歴史友好都市である和歌山県高野町を訪れ、高野山中学校の生徒と社会見学や体験学習等を通して交流を行った。 また、高野町や姉妹都市である長崎県平戸市の小学校と図画など作品を相互に展示しあった。

成果指標の名称	単位	平成21年度 (実績)	平成27年度 (中間目標)	平成28年度 (実績)	平成32年度 (目標)
交流事業参加者数	人	126 (H23実績)		220	
国内外との交流活動の状況についての満足度	%	8.3		-	

具体的な事業・取組み	
① 交流推進体制の確立	② 姉妹都市の児童・生徒作品展
③ 高野町・善通寺市中学生交流事業	

第5次普通寺市総合計画 進行管理表

総合計画の体系				関係課	農業委員会
基本目標	4 活力の創出、地域が活きるまちづくり	基本施策	4-1 農林業の振興	施策の主管課	農林課

施策の内容	平成28年度末 進行状況	施策の内容	平成28年度末 進行状況
① 農地の保全・活用	農地の生産基盤整備を目的として、農道舗装を4路線で852.6m、水路改修を4箇所で293.7m、水路の浸漬を1箇所及び畑かんがい施設の改修を1箇所実施した。	② 遊休農地の有効活用	遊休農地の解消と活用を図るために農地の保全管理として、(公財)普通寺市農地管理公社において、平成27年度では延べ23.5haの保全管理を行った。また、新設された香川県農地機構と連携し農地の流動化と集積化に取り組んだ。
③ 意欲ある農業者の育成・確保	平成28年度においては、昨年に引き続き2名の新規就農者に対する農業研修等を(公財)普通寺市農地管理公社に委託して実施した。 また、認定農業者に対し規模の拡大のための農地集積に向けた取り組みについて支援を行った。なお、現在の認定農業者については、個人39経営体、法人16経営体の計55経営体となっている。	④ 生きがい型農業の推進	新たに農業を始めようと考えている方や農業に興味のある方を対象とした「ゆめ楽農支援塾」を(公財)普通寺市農地管理公社が開催した。平成28年度では40名の受講生が実践講座や基礎講習を受けた。 また、新たな集落営農組織を立ち上げるための支援についても引き続き事業を行った。
⑤ 農商工連携の強化による地域特産品の開発	ダイシモチ麦など本市の農産品を活用した加工品の開発、研究並びに販売に取り組む団体を支援する等の事業を実施し、地域農業の振興と活性化を図った。また、農商工の連携を強化すること、市の産業を活性化することを目的に「農商工夢フェスタ」を平成28年10月に開催した。		

成果指標の名称	単位	平成21年度 (実績)	平成27年度 (中間目標)	平成28年度 (実績)	平成32年度 (目標)
集落営農組織(特定農業団体)数	組織	7	⇒	1	⇒
認定農業者数	人	42	50	55	65
農業生産法人数	法人	8	15	15	20
新規就農者数	人	4	6	7	8
新規就農者育成塾修了者数	人	40	⇒	40	⇒
市民農園開設数	箇所	3	6	2	10
市の農業振興についての満足度	%	7.6	↗	-	↗
担い手への農地の利用集積	ha	445	530	387	600
遊休農地の面積	ha	31	15	20	0

具体的な事業・取組み	
① 農用地保全管理事業	② 農業振興地域整備計画事業
③ 農道整備事業	④ ため池管理事業
⑤ 水路改修事業	⑥ 畑地かんがい施設維持管理事業
⑦ 農地無断転用防止特別事業	⑧ 機構集積支援事業
⑨ 定例農業相談事業	⑩ 認定農業者農地集積支援事業
⑪ 農業近代化資金利子補給事業	⑫ 農業経営基盤強化資金利子補給事業
⑬ 新規就農者育成事業	⑭ 機械化・効率化促進事業
⑮ 有害鳥獣被害対策事業	⑯ 森林害虫等防除事業
⑰ 環境保全型農業支援事業	⑱ 市民農園開設事業
⑲ 農林業展開催事業	⑳ 農業特産品開発支援事業
㉑ 農林業団体支援事業	㉒ 米政策改革支援事業
㉓ 畜産業の振興事業	

第5次善通寺市総合計画 進行管理表

総合計画の体系				関係課	営業課
基本目標	4 活力の創出、地域が活きるまちづくり	基本施策	4-2 商工業の振興	施策の主管課	商工観光課

施策の内容	平成28年度末 進行状況	施策の内容	平成28年度末 進行状況
① 経営体質・基盤の強化	厳しい経営環境に対応し、経済振興対策融資資金等の預託やセーフティネット保証制度認定業務、商工会議所との連携による商工振興事業を実施した。具体的な事業として、商工会議所運営補助金などの商工振興事業に4,385千円交付した。リフォーム支援と市内商業活性化のため、善通寺市商品券を発行した。経済振興対策融資資金などの中小企業経営強化事業に48,000千円金融機関へ預託し、経営体質・基盤の強化を促進した。	② 中心市街地の活性化	長引く不況の影響や消費者ニーズの多様化により、空き店舗化などが顕在化しており、中心市街地の活性化に対応するため、関係機関との連携を強化するとともに、空き店舗対策事業などの施策を実施した。具体的な事業として、TMO組織である「まんでがん」への支援としての中心市街地活性化事業に2,614千円、空き店舗等活用支援事業に4,093千円交付し、中心市街地の活性化を図った。
③ 企業誘致の推進	関係機関との連携のもと、遊休地情報の収集・立地情報を提供するとともに、香川県企業誘致推進協議会が出席する、ファベックス関西2016において、企業誘致活動を実施した。		

成果指標の名称	単位	平成21年度 (実績)	平成27年度 (中間目標)	平成28年度 (実績)	平成32年度 (目標)
商店数	店	492	⇒	-	⇒
年間商品販売総額	万円	6,793,013	⇒	-	⇒
事業所数(従業員4人以上)	事業所	58	⇒	-	⇒
製造品出荷額等総額	万円	3,684,851	⇒	-	⇒

具体的な事業・取組み	
① 商工振興事業	② 中小企業経営強化事業
③ 消費者活動活性化事業	④ 中心市街地活性化事業
⑤ 空き店舗等活用支援事業	⑥ 企業誘致推進事業
⑦ 民間住宅リフォーム支援・市内商業活性化事業	⑧ 商店街まちづくり事業
⑨ 営業推進事業	

第5次善通寺市総合計画 進行管理表

総合計画の体系				関係課	
基本目標	4 活力の創出、地域が活きるまちづくり	基本施策	4-3 観光の振興	施策の主管課	商工観光課

施策の内容	平成28年度末 進行状況	施策の内容	平成28年度末 進行状況
① 観光拠点の充実	平成23年に、お遍路さんや観光客と市民が集う交流と情報発信の拠点を目指してオープンした普通寺市観光交流センターにおいて、空海行状絵伝展示会などのイベントを実施するとともに、観光情報の発信を行った。また、市内から9,900名、市外から1,201名、県外から1,624名、部屋の使用者が4,026名で合わせて16,751名の皆さんが来館された。 また、同施設において平成28年より運用が始まった足湯「供待の湯」については、来館者の内8,653名が利用した。	② 観光情報PRの強化	市ホームページ、各種新聞紙上、観光情報誌等に旬な観光情報を掲載し、情報発信を行なった。
③ 観光ボランティアガイドの育成	平成26年2月から観光ガイド養成講座を開講している。平成28年度は、5回の観光ガイド養成講座を開講しガイド登録者は36名となった。	④ 広域観光の推進	中讃広域圏3市5町で構成している「さめき瀬戸大橋広域観光協議会」において、中讃広域圏を全国的に紹介・宣伝するためのパンフレット「Beハートフル」の作成・配布を実施した。また、キャラバン隊を組織し、広島県広島市において、観光パンフレットや土産品等を配布する宣伝活動を展開し、中讃地域への誘客を図った。

成果指標の名称	単位	平成21年度 (実績)	平成27年度 (中間目標)	平成28年度 (実績)	平成32年度 (目標)
主要観光施設入場者数	人	1,236,143		1,177,837	
観光イベント参加者数	人	106,000		70,000	
観光ボランティアガイド登録者数	人	0		36	
観光交流センター利用者数	人	—		16,751	
レンタサイクル利用台数	台	1,278		1,443	

具体的な事業・取組み	
① 観光宣伝事業	② 観光交流センター運営事業

第5次善通寺市総合計画 進行管理表

総合計画の体系				関係課	
基本目標	4 活力の創出、地域が活きるまちづくり	基本施策	4-4 雇用・勤労者対策の充実	施策の主管課	商工観光課

施策の内容	平成28年度末 進行状況	施策の内容	平成28年度末 進行状況
① 雇用就業機会の確保	ハローワークや商工会議所などの関係機関や市内事業所と連携し、既存事業所の支援や就職相談、情報提供、職業斡旋などを集め、雇用の安定と雇用機会の拡充を推進した。また、定住自立圏域就職面接会を開催した。	② 勤労者福祉の充実	善通寺市・丸亀市・琴平町・多度津町・まんのう町の中小企業の従業員とその事業主等の福利厚生面を充実させることを目的として設立された「中讃勤労者福祉サービスセンター」へ1,680千円負担するとともに、会員への生活必需品の購入や家屋改修などの生活資金を貸し付けるための資金として10,000千円貸し付けた。また、四国労働金庫へ市内の勤労者に対して生活・住宅・風水害等の災害特別融資をするための資金として10,000千円預託した。また、市民が自ら居住するための住宅を建築または購入に当たり必要な資金を金融機関から融資を受けた場合に、利子の一部を補給することによって、持家の取得の促進を図った。

成果指標の名称	単位	平成21年度 (実績)	平成27年度 (中間目標)	平成28年度 (実績)	平成32年度 (目標)
中讃勤労者福祉サービスセンター会員数 (善通寺市)	人	603		673	
住宅建設等資金利子補給金交付件数	件	215		278	

具体的な事業・取組み
① 雇用就業機会促進事業 ② 中讃勤労者福祉サービスセンター運営助成事業 ③ 勤労者福祉資金貸付事業 ④ 持家取得促進事業

第5次普通市総合計画 進行管理表

総合計画の体系				関係課	
基本目標	5 環境重視、美しくさわやかなまちづくり	基本施策	5-1 環境施策の総合的推進	施策の主管課	環境課

施策の内容	平成28年度末 進行状況	施策の内容	平成28年度末 進行状況
① 環境保全意識の高揚	広報「ぜんつうじ」の環境ガイドに定期的に環境情報を掲載した。 また、小学生を対象とした環境学習として環境探検隊(年2回 参加者40名)を開催し、環境学習の推進を図った。 環境推進連合会の役員研修会(年1回)、各地区環境推進会の研修会(年1回～2回)において、市民の環境保全意識の高揚に努めた。 緑のカーテンの推進に取り組んだ。(公共施設16ヶ所で実施)	② 環境保全活動の促進	金倉川、弘田川、中谷川、二反地川の河川清掃を実施。参加者4,061人。 大麻山山頂周辺及びキャンプ場周辺での清掃事業を、月に2～4回の割合で実施した。 アダプション・プログラム推進事業を実施。 (年度末時点での登録者数:個人119人、団体数80) 環境基本計画及び地球温暖化対策実行計画の進捗状況について環境審議会を開催した。
③ 公害など環境問題への対応	弘田川及び買田池において、年4回水質検査を実施した。 公害に関する苦情件数: 84件 野外焼却(ダイオキシン類)への指導件数: 10件 水質汚濁、騒音、振動、悪臭等の対策については、中讃保健福祉事務所、警察署等関係機関との連携のもと、監視・指導に努めた。 主要幹線道路(3ヶ所)で自動車騒音の常時監視を行った。	④ 不法投棄の防止	3名の不法投棄監視員により監視パトロールを実施した。 不法投棄監視員による投棄者の回収量: 8,300kg。 不法投棄防止等看板の設置及び市民への配布: 20件。 関係機関(県、中讃保健福祉事務所、警察署)と連携して、広域的な監視パトロール体制の強化を図った。また、広報「ぜんつうじ」の環境ガイドのページに啓発記事を掲載した。
⑤ 地球温暖化対策の推進	太陽光発電などの公共施設への導入や、住宅用太陽光発電システム等の普及に努めるとともに、大規模太陽光発電事業の継続的な運用を行い、再生可能エネルギーの利用拡大に努める。 また、次世代自動車普及の為に充電インフラ整備、防犯灯・街路灯等のLED照明化など省エネルギー化に向けた施策を積極的に推進し、環境への負荷の少ないまちづくりに取り組む。		

成果指標の名称	単位	平成21年度 (実績)	平成27年度 (中間目標)	平成28年度 (実績)	平成32年度 (目標)
市のCO ₂ 排出量	t-CO ₂	2,803	2,662	3,883	
環境関係市民団体数	団体	14		14	
環境教育時間数	時間	12	18	8	24
市の環境保全の状況についての満足度	%	29.5		-	
市のし尿処理の状況についての満足度	%	35.8		-	

具体的な事業・取組み	
① 環境保全管理項目(水質・二酸化窒素・悪臭・騒音)検査事業	② 大麻山山頂等・キャンプ場清掃事業
③ 環境審議会活動推進事業	④ 住宅用太陽光発電システム設置推進事業
⑤ 河川清掃事業	⑥ アダプション・プログラム推進事業
⑦ 不法投棄監視事業	⑧ し尿収集運搬業務
⑨ 環境保全啓発事業	⑩ 自動車騒音常時監視事業
⑪ 次世代自動車充電インフラ整備促進事業	⑫ 大規模太陽光発電事業
⑬ 防犯灯等LED照明導入事業	

第5次善通寺市総合計画 進行管理表

総合計画の体系				関係課	
基本目標	5 環境重視、美しくさわやかなまちづくり	基本施策	5-2 循環型社会の形成	施策の主管課	環境課

施策の内容	平成28年度末 進行状況	施策の内容	平成28年度末 進行状況
① ごみ収集・処理体制の充実	環境推進連合会の活動強化のために運営補助金(2,902千円 9,091世帯)を支出し、ごみ処理体制の充実を図った。 仲善クリーンセンター及びエコランド林ヶ谷連絡協議会を開催し、2市3町と連携してごみ処理体制の充実に努めた。	② ごみ減量化・3R運動の促進	環境推進連合会を中心に、ごみの分別の徹底及び3R運動の促進に努めた。 (生ごみリサイクル事業補助金申請件数:電気式生ごみ処理機26件、コンポスト10件) 広報「ぜんつうじ」及び市ホームページにごみ収集・処理体制に関する情報を掲載し、市民への周知を図った。

成果指標の名称	単位	平成21年度 (実績)	平成27年度 (中間目標)	平成28年度 (実績)	平成32年度 (目標)
市民一人当たりのごみ排出量	kg	200	185	221	165
家庭から出されるごみのうちリサイクルされている割合	%	22.1	25.0	20.8	30.0
ごみ処理・リサイクルなどの状況についての満足度	%	60.7		-	
環境に配慮した生活をしていると答える市民割合	%	71.7		-	

具体的な事業・取組み	
① 市環境推進連合会活動推進事業	② 生ごみリサイクル事業

第5次普通寺市総合計画 進行管理表

総合計画の体系				関係課	
基本目標	5 環境重視、美しくさわやかなまちづくり	基本施策	5-3 上下水道の整備	施策の主管課	上下水道課

施策の内容	平成28年度末 進行状況	施策の内容	平成28年度末 進行状況
① 計画的な水道施設の整備	平成28年度は、市内の配水管の新設や改良等で13路線、延べ約2.1kmの管渠布設工事を実施した。	② 水道事業の健全運営	給水収益等の減少を踏まえて経費の節減に努めた結果、3,519万円の純利益となり、健全な運営ができた。
③ 渇水対策	現在、水道水の自己水源比率は、地下水64%、県水36%となっている。県水の依存度を下げるために、安定した水量及び水質が確保できる新規水源について、調査を継続している。	④ 水道施設の耐震化	平成28年度は、浄水場急速ろ過池の耐震診断を行った。また送配水管の新設工事や配水管の改良工事には耐震管を使用し、施設の耐震化を図った。
⑤ 下水道整備の推進	普通寺市流域関連公共下水道事業計画に基づき、認可残区域の下水道整備を推進している。平成28年度は普通寺町、中村町地内の汚水幹線において、延べ約1.3kmの管渠敷設を行った。	⑥ 下水道の普及促進	市民に下水道事業に対する理解を深めてもらえるよう、農商工フェスタにおいて下水道展を開催し、来場者に下水道事業のパンフレット等を配布するなどPR活動を実施している。また、市広報誌や地元住民への事業説明会を活用して、下水道供用開始時には早期に水洗化が進むよう周知を行っている。

成果指標の名称	単位	平成21年度 (実績)	平成27年度 (中間目標)	平成28年度 (実績)	平成32年度 (目標)
有収率	%	88.4	90.0	81.4	95.0
老朽管の延長	m	22,410	18,000	13,115	10,000
市の上水道の状況についての満足度	%	42.6		-	
水洗化率	%	92.8	94.0	95.3	96.0
市の生活排水処理の状況についての満足度	%	32.0		-	
下水道有収率	%	83.3	85.0	86.1	87.0

具体的な事業・取組み	
① 配水管新設事業	② 配水管改良事業
③ 公共下水道工事に伴う配水管移設事業	④ 基幹管路耐震化事業
⑤ 配水池等建設事業	⑥ 配水施設整備事業
⑦ 水源地開発事業	⑧ 水源地施設整備事業
⑨ 浄水場施設整備事業	⑩ 浄水場等運転管理業務委託事業
⑪ 水道事業の健全経営	⑫ 節水意識の高揚
⑬ 公共下水道施設整備事業	⑭ 合併浄化槽普及促進事業

第5次善通寺市総合計画 進行管理表

総合計画の体系				関係課	農林課・生涯学習課
基本目標	5 環境重視、美しくさわやかなまちづくり	基本施策	5－4 公園・緑地・水辺の整備	施策の主管課	土木都市計画課

施策の内容	平成28年度末 進行状況	施策の内容	平成28年度末 進行状況
① 都市公園の活用	花のまちづくり事業の拠点施設である「善通寺五岳の里」市民集いの丘公園では、花と緑に関する各種講座を59回開催し、延べ1,096人が受講した。また来園者数においては、年間100,000人が来園されるなど、年々増加傾向にある。	② 地域の公園・広場の整備	平成28年度において、現在未整備である4地区からの具体的な要望はなく、新規のボランティア公園供用開始には至らなかった。また、現在整備済の4公園については、供用開始後10余年が経過し、改修整備を余儀なくされているため、状況に応じて改修整備をしている。 今後も、未整備である4地区からの要望等の調査を行うとともに、整備済の公園についても、施設の維持管理等に取り組んでいく。
③ 水辺の整備	平成21年度に水辺公園等の整備を完了して以降、施設状況に応じて改良、修繕を実施している。また、水辺公園管理協議会へ保全管理のための助成を行った。また、孫六出水について前年に引き続き整備を行った。		

成果指標の名称	単位	平成21年度 (実績)	平成27年度 (中間目標)	平成28年度 (実績)	平成32年度 (目標)
市民1人当たり公園面積	m ²	5.76		8.67	10.00
公園利用者数	人	53,502	70,000	166,842	100,000
市の公園・緑地の整備状況についての満足度	%	36.2		—	
市の親水空間の整備状況についての満足度	%	18.6		—	

具体的な事業・取組み	
① 都市公園整備事業	② 公園施設整備事業
③ 水辺環境整備事業	④ 「善通寺五岳の里」市民集いの丘公園 管理運営事業
⑤ 鉢伏ふれあい公園管理運営事業	⑥ ボランティア公園整備事業

第5次善通寺市総合計画 進行管理表

総合計画の体系				関係課	農林課・生涯学習課
基本目標	5 環境重視、美しくさわやかなまちづくり	基本施策	5-5 景観の保全・整備	施策の主管課	土木都市計画課

施策の内容	平成28年度末 進行状況	施策の内容	平成28年度末 進行状況
① 景観の保全	市の景観形成に大きな影響を与える恐れのある行為については届出を義務付けている。平成28年度では、7件の届出があり、さらなる制度周知、および市民・事業者協働の景観保全に努める。	② 市街地景観づくり	市内の公共の場所で季節に合わせた植物の手入れや植え替えを行うボランティア『善通寺ガーデンサポーター「花呼さん」』には、平成28年度末現在で52名が登録しており、平成28年度では、市民花壇、地藏池など市内7ヶ所において1ヶ月に4回程度花壇の手入れや植え替え作業を行った。
③ 景観計画に関する啓発及び知識の普及	平成24年10月1日の景観条例が施行され、ホームページ等で景観計画及び景観条例に基づく届出制度について市民及び関係機関へ周知している。		

成果指標の名称	単位	平成21年度 (実績)	平成27年度 (中間目標)	平成28年度 (実績)	平成32年度 (目標)
花のまちづくり事業参加市民割合	%	—	40.0	—	60.0
本市の景観の状況についての満足度	%	37.3		—	
保護樹木・保護樹林の指定数	本	2	10	0	10
本市の緑化の推進状況についての満足度	%	32.8		—	

具体的な事業・取組み	
① 道路沿線の植栽・植樹整備及び保全	② 歴史的建造物の保全
③ 景観計画・景観条例の策定	④ 花のまちづくり事業(フラワーバンク事業・ガーデンサポーター活動事業)

第5次善通寺市総合計画 進行管理表

総合計画の体系				関係課	
基本目標	6 安心・安全、暮らしやすいまちづくり	基本施策	6ー1 道路・交通ネットワークの整備	施策の主管課	土木都市計画課

施策の内容	平成28年度末 進行状況	施策の内容	平成28年度末 進行状況
① 国道・県道の整備要請	県道善通寺府中線、県道善通寺詫間線及び県道西白方善通寺線が事業中である。引き続き国、県に対して整備要望を行う。	② 市道の整備	道路舗装については15路線49,127千円、路肩整備・拡幅整備については14路線84,607千円を実施した。引き続き計画的、効率的に事業を進め、安全な道路整備、維持管理に努める。
③ 安全で快適な道づくりの推進	延べ34路線において、ガードレール23.0m、転落防止柵158.5m、視線誘導標15本、道路鋸2基、ラバーポール1本、道路反射鏡5基、通学路防犯灯1基、路面カラー化275.3㎡、区画線1950.49m、イメージハンプ1箇所、クイックシート1箇所を施工した。引き続き安全な道路環境の維持に努める。		

成果指標の名称	単位	平成21年度 (実績)	平成27年度 (中間目標)	平成28年度 (実績)	平成32年度 (目標)
市道改良率	%	58.2		59.5	
市内の道路の整備状況についての満足度	%	51.0		-	

具体的な事業・取組み	
① 南大門前にぎわい広場整備事業	② 一高西側線舗装事業
③ 橋梁長寿命化修繕計画策定	④ 橋梁長寿命化修繕事業
⑤ 与北谷線改良事業	⑥ 各線改良事業
⑦ 各線舗装事業	⑧ 市道修繕事業
⑨ 国道・県道の整備要請	⑩ 総本山国病東側線歩道整備事業
⑪ 竜川小学校周辺道路整備事業	

第5次普通寺市総合計画 進行管理表

総合計画の体系				関係課	建築住宅課・上下水道課
基本目標	6 安心・安全、暮らしやすいまちづくり	基本施策	6-2 住宅・市街地の整備	施策の主管課	土木都市計画課

施策の内容	平成28年度末 進行状況	施策の内容	平成28年度末 進行状況
① 良好な住宅地の形成	昭和56年5月31日以前の旧耐震基準で建てられた住宅について、耐震診断・耐震改修に補助金を交付しているが平成28年度は耐震診断を38件、耐震改修を6件行った。	② 居住環境の総合的整備	村上池運動公園の休憩所及び園内路を健康づくりの場、憩いの場として整備した。
③ 市営住宅の計画的な整備	平成28年度は地域の防災・防犯・景観・環境の阻害要因となっている老朽化した市営鶴ヶ峰住宅6棟16戸・東仙遊町住宅3棟3戸を除却した。また、個別改善が必要な住宅については外壁改修やフェンス・物置設置等の工事を実施し、丸山町改良住宅E棟については減築工事を実施した。	④ 排水路の整備	市街地を中心に排水路整備9箇所、工事費28,967千円を実施した。引き続き排水不良、老朽化の著しい水路の改修を行い生活環境の改善を図る。

成果指標の名称	単位	平成21年度 (実績)	平成27年度 (中間目標)	平成28年度 (実績)	平成32年度 (目標)
市の住宅施策の状況についての満足度	%	21.5		-	

具体的な事業・取組み
① 住環境整備事業 ③ 住宅改善改修事業 ⑤ 民間住宅耐震対策支援事業 ⑦ 香川県に対する中谷川の改修要請 ② 老朽化住宅除却事業 ④ 各所排水路改修工事 ⑥ 雨水貯留施設設置事業

第5次善通寺市総合計画 進行管理表

総合計画の体系				関係課	土木都市計画課
基本目標	6 安心・安全、暮らしやすいまちづくり	基本施策	6-3 交通安全・防犯体制の充実	施策の主管課	市民課

施策の内容	平成28年度末 進行状況	施策の内容	平成28年度末 進行状況
① 交通安全意識の高揚	市交通対策協議会が主体となり、春・夏・年末年始の交通安全県民運動期間に合わせて、市関係施設へのポスター掲示や小中学校等へチラシを配布するなど広報活動を積極的に行った。 また、街頭活動キャンペーンを実施し、ドライバーや歩行者の交通安全意識の高揚とマナー向上について啓発活動を行った。	② 安全な道路環境の整備・維持	延べ34路線において、ガードレール23.0m、転落防止柵158.5m、視線誘導標15本、道路銀2基、ラバーポール1本、道路反射鏡5基、通学路防犯灯1基、路面カラー化275.3㎡、区画線1950.49m、イメージハンプ1箇所、クイックシート1箇所を施工した。引き続き安全な道路環境の維持に努める。
③ 防犯意識の高揚	丸亀・善通寺・多度津地区防犯協会が主体となり、小学校の新入生への防犯ブザーの配布や防犯教室等を行った。 Fネット通信の配信による不審者情報の提供や、市広報紙に振り込め詐欺の情報を掲載するなど、丸亀警察署とも連携しながら被害防止に努めた。 また、「ぜんつうじ安心・安全マップ」を作成して、市内全戸及び転入者へ配布した。	④ 防犯環境の充実	自主防犯活動として、小学生の登下校の見守りを地域ボランティア団体、学校、PTA等が主体となって行った。 また、婦人会と防犯協会、丸亀警察署等が協力して年金支給日には市内の金融機関やショッピングセンター等において「振り込め詐欺防止キャンペーン」を実施した。 平成27年度から平成29年度にかけて、通学路を中心に市内に80基ほどの防犯カメラを設置することとし、28年度では32基を設置した。

成果指標の名称	単位	平成21年度 (実績)	平成27年度 (中間目標)	平成28年度 (実績)	平成32年度 (目標)
交通事故発生件数	件	393		251	
刑法犯認知件数	件	424		171	
身近な地域での防犯活動・パトロール活動に参加している人	%	8.9		-	
市の交通安全体制についての満足度	%	23.8		-	
市の防犯体制についての満足度	%	22.8		-	

具体的な事業・取組み
① 市交通対策協議会交付金交付事業 ② 防犯協会補助金交付事業 ③ 防犯灯設置推進事業 ④ 交通安全施設整備事業 ⑤ 防犯設備設置事業

第5次善通寺市総合計画 進行管理表

総合計画の体系				関係課	消防総務課・高齢者課
基本目標	6 安心・安全、暮らしやすいまちづくり	基本施策	6ー4 消防・防災・救急体制の充実	施策の主管課	防災管理室

施策の内容	平成28年度末 進行状況	施策の内容	平成28年度末 進行状況
① 総合的な防災体制の確立	平成28年度において、緊急情報の伝達を強化するため、防災行政無線戸別受信機の整備を行った。南海トラフ地震への対策として、香川県の避難者想定数を考慮した備蓄を確保するため、毎年計画的に一定量の食料購入をし、必要な備蓄の確保を実施。また、県の指導により1日分の備蓄食料と、避難所1人あたり500mlの水を、大地震が起きた際の避難所となる各小学校に備蓄した。また、県の地域防災力総合推進事業を活用し、避難生活の際に必要な毛布を1,250枚購入した。	② 地域での防災力の強化	「地域防災リーダー育成支援事業」を引き続き実施し、新たに4名の防災士が誕生した。また、自主防災会で行われる防災訓練や勉強会等に企画段階から積極的に支援し、講師の派遣等を行った。例年行っている防災講演会にはホリカフーズ株式会社代表の別府茂氏を招き、「災害から考える食の危機管理～平常時と被災時をつなぐ災害食～」というタイトルで講演をいただき、災害時に備えた食料の備蓄の大切さを説明。市民の防災意識の啓発と知識の向上に努めた。
③ 災害時要援護者対策の充実	要援護者台帳の情報をハザードマップシステムと組み合わせ、防災体制の基礎情報として活用している。今後も、関係機関と連携を図りながら、要援護者情報の更新をしていく予定である。	④ 常備消防・救急体制の充実	消防体制の基盤強化を図るため救助工作車の更新整備を行なった。また、消防・救急・救助の専門的知識技術を習得させるため各種研修・訓練に派遣し、市民サービスの向上に努めている。
⑤ 消防団の活性化	地域防災力の要であることから、安全装備品として救助用半長靴を全団員に貸与した。また、消防団員の重要性に鑑み、指導的立場にある消防団員に知識及び技能を修得するための研修を受け、全団員の脂質の向上を図った。	⑥ 火災予防・初期消火・救急救命に関する知識の普及	火災のないまちづくりを目指して、火災予防を重点に市民の防火意識の高揚を図るため、住宅用火災警報器の設置推進の防火ステッカーやポケットティッシュの配布、広報車を活用しての火災予防啓発活動に努めた。傷病者の救命率向上を図るため、普通救命講習を11回開催し140名の方に救命に関する知識を普及した。
⑦ 消防庁舎などの建設	旧消防庁舎等の除去及び跡地整備工事を完了し、善通寺市中央公民館の駐車場として活用している。 耐震性貯水槽100㎡型1基を善通寺市立吉原小学校に整備し災害発生時の消防力の強化と避難者等が飲料水以外の水として利用できるようになった。		

成果指標の名称	単位	平成21年度 (実績)	平成27年度 (中間目標)	平成28年度 (実績)	平成32年度 (目標)
応急手当(心肺蘇生法など)講習会受講者数	人	2,800	4,000	4,688	6,000
1年間に、防火・防災訓練に参加したことがある人	%	11.2		-	
市の消防・救急体制についての満足度	%	38.5		-	
避難路・避難場所を知っている市民割合	%	62.1		-	
救急救命士の数	人	15	20	21	24

具体的な事業・取り組み	
① 自主防災活動支援事業	② 防災体制の強化
③ 戸別受信機整備事業	④ 救助工作車整備事業
⑤ 高規格救急車整備事業	⑥ 小型ポンプ付積載車整備事業
⑦ 消防ポンプ車整備事業	⑧ 消防指令広報車整備事業
⑨ 消防本部庁舎・消防団屯所・防災備蓄倉庫建設整備事業	⑩ 耐震性貯水槽設置事業

第5次善通寺市総合計画 進行管理表

総合計画の体系				関係課	
基本目標	6 安心・安全、暮らしやすいまちづくり	基本施策	6ー5 情報ネットワークの整備	施策の主管課	総務課

施策の内容	平成28年度末 進行状況	施策の内容	平成28年度末 進行状況
① 市民への情報発信の強化	ホームページによる情報共有の推進については、平成28年4月1日から29年3月31日までの平均月間アクセス数が39,900件を上回り、さらに伸びを見せている。より一層の共有をはかるため、平成26年11月より、市公式Facebookの運営を開始している。	② 情報提供の安定化	庁内ネットワークの有線化と、各課からの記事掲載については平成25年に対応を完了した。 善通寺市の市政情報をホームページへよりきめ細かくアップしていくよう、各課担当に周知を徹底している。

成果指標の名称	単位	平成21年度 (実績)	平成27年度 (中間目標)	平成28年度 (実績)	平成32年度 (目標)
市の高度情報環境の状況についての満足度	%	16.9		-	
市のホームページを見たことがある人	%	31.4		-	
市職員に対する情報セキュリティ研修回数	回	0	1	1	2

具体的な事業・取組み	
① 行政情報ネットワーク管理支援業務	② ネットワーク機器保守業務
③ イン트라ネット光回線移行業務	④ 重要データのバックアップ強化事業
⑤ インターネットサーバ管理業務	⑥ 香川県高度情報化推進事業
⑦ ホームページシステム管理業務	

第5次善通寺市総合計画の体系

基本構想		基本計画	実施計画
将来像	基本目標	基本施策	具体的な事業・取組み
住んでみたい・住みつけたいまち 善通寺	1 参画と協働、 地方分権時代のまちづくり	1-1 市民主体のまちづくりの推進	①情報公開制度の適正運用 ②市政に関する情報提供の充実 ③パブリックコメント・ワークショップの積極的な実施 ④コミュニティ活動の推進 ⑤コミュニティ施設の充実 ⑥地域提案型事業
		1-2 男女共同参画・人権尊重社会の形成	①人権啓発推進事業 ②人権・同和教育指導事業 ③男女共同参画プラン策定事業 ④人権問題に関する相談体制の充実
		1-3 自律する自治体経営の推進	①定員適正化の推進 ②アウトソーシングの推進 ③新善通寺市機構改革計画に基づく機構改革の推進 ④人事管理などの見直し ⑤適正課税の推進及び徴収率の向上 ⑥財政計画の策定 ⑦枠配分予算の導入
	2 福祉先進、 だれにもやさしいまちづくり	2-1 子育て支援の充実	①地域子育て支援センター事業 ②延長保育 ⑤一時保育 ④休日保育 ⑤障害児保育 ⑥病児・病後児保育 ⑦発達障害児支援体制整備事業 ⑧利用者支援事業 ⑨子育て支援医療費助成事業 ⑩つどいの広場事業 ⑪妊産婦・新生児等訪問指導 ⑫妊婦・乳幼児健康診査 ⑬乳幼児健康診査
		2-2 保健・医療の充実	①保健衛生管理事業 ②在宅当番医制事業 ③病院群輪番制病院事業 ④健康生きがい中核事業（健康運動教室） ⑤健康診査及び各種がん検診等の受診事業 ⑥予防接種 ⑦食育推進事業 ⑧狂犬病予防事業 ⑨歯と口の衛生週間行事 ⑩ヘルススクール等健康教室実施事業 ⑪地区組織育成 ⑫精神保健福祉対策の推進 ⑬感染症対策の推進
		2-3 高齢者福祉の充実	①敬老行事・高齢者訪問 ②緊急通報体制整備等事業 ③老人無料・生きがい入浴券交付事業 ④市民バス運行事業 ⑤高齢者の就労の場の確保および支援 ⑥生きがい対応型サービス事業 ⑦老人クラブ活動事業 ⑧地域見守り体制整備事業 ⑨訪問型サービス事業 ⑩通所型サービス事業 ⑪介護予防ケアマネジメント事業(第1号介護予防支援事業) ⑫介護予防事業対象者把握事業 ⑬介護予防普及啓発事業 ⑭地域介護予防防活動支援事業 ⑮介護予防事業評価事業 ⑯高額介護予防サービス費相当事業費、審査支払手数料等 ⑰地域包括支援センター管理事業等 ⑱総合相談支援事業 ⑲権利擁護事業 ⑳包括的・継続的ケアマネジメント事業 ㉑介護給付等費用適正化事業 ㉒家族介護教室開催事業 ㉓成年後見制度利用支援事業 ㉔福祉用具・住宅改修支援事業 ㉕地域自立生活支援事業 ㉖在宅医療・介護連携推進事業 ㉗生活支援体制整備事業 ㉘認知症総合支援事業 ㉙地域ケア会議推進事業 ㉚在宅ねたきり老人等介護手当
		2-4 障がい者福祉の充実	①障害者介護費及び施設利用費給付事業 ②障害者訓練費及び就労支援費給付事業 ③障害者生活相談支援等事業 ④障害者人工透析等医療費給付事業 ⑤障害者車椅子及び装具等給付事業 ⑥障害者医療費助成事業 ⑦障害者福祉年金等給付事業 ⑧精神障害者居場所づくり事業（いれあいボート善通寺）
		2-5 社会保障の充実	①要援護者就労支援事業 ②生活扶助費等支給事業 ③医療費適正化事業（健康づくり事業） ④特定健康診査等事業 ⑤国民年金制度の周知 ⑥国民健康保険税に係る徴収率の向上
		2-6 地域福祉の充実	①社会福祉協議会活動支援事業 ②しあわせプランぜんつつじ推進事業 ③民生児童委員活動支援事業 ④ユニバーサルデザインのまちづくり
	3 絆と教育、 人を育てるまちづくり	3-1 学校教育の充実	①スクールカウンセラー配置事業 ②プール改修事業 ③学校給食センター改築事業 ④学校支援のための市費講師雇用事業 ⑤小学生学力向上等対策事業 ⑥土曜日充実事業 ⑦小学校放課後学力向上等対策事業 ⑧中学生学力向上等対策事業 ⑨幼児教育力総合化推進事業 ⑩特別支援教育の推進 ⑪子どもの安全の確保 ⑫小学校タブレットパソコン活用事業 ⑬学校給食の充実 ⑭パワーアップ事業 ⑮スタディアフタースクール事業 ⑯幼稚園茶道体験教室 ⑰幼稚園園舎外壁等改修事業 ⑱シティズンシップ育成事業 ⑲いじめ防止対策事業 ⑳地域学習副読本作成事業
		3-2 生涯学習社会の確立	①市民会館耐震改修整備事業 ②地区公民館耐震改修整備事業 ③生涯学習関連の講座・教室の開催 ④教育団体活動支援事業 ⑤図書館利用促進事業
		3-3 生涯スポーツの振興	①体育施設耐震調査 ②体育施設管理運営事業 ③スポーツ団体活動支援 ④スポーツ事業の開催
		3-4 青少年の健全育成	①少年育成センター事業 ②不登校児童生徒適応指導教室設置事業
		3-5 地域文化の継承・創造	①文化・芸術関連行事の実施 ②文化・芸術団体組織の充実・支援 ③旧善通寺偕行社の利活用 4. 埋蔵文化財の調査
		3-6 交流活動の推進	①交流推進体制の確立 ②姉妹都市の児童・生徒作品展 ③高野町・善通寺市中学生交流事業

第5次善通寺市総合計画の体系

基本構想		基本計画	実施計画
将来像	基本目標	基本施策	具体的な事業・取組み
住んでみたい・住みづづきたいまち 善通寺	4 活力の創出、 地域が活きるまちづくり	4-1 農林業の振興	①農用地保全管理事業 ②農業振興地域整備計画事業 ③農道整備事業 ④ため池管理事業 ⑤水路改修事業 ⑥畑地かんがい施設維持管理事業 ⑦農地無断転用防止特別事業 ⑧機構集積支援事業 ⑨定例農業相談事業 ⑩認定農業者農地集積支援事業 ⑪農業近代化資金利子補給事業 ⑫農業経営基盤強化資金利子補給事業 ⑬新規就農者育成事業 ⑭機械化・効率化促進事業 ⑮有害鳥獣被害対策事業 ⑯森林害虫等防除事業 ⑰環境保全型農業支援事業 ⑱市民農園開設事業 ⑲農林業展開催事業 ⑳農業特産品開発支援事業 ㉑農林業団体支援事業 ㉒米政策改革支援事業 ㉓畜産業の振興事業
		4-2 商工業の振興	①商工振興事業 ②中小企業経営強化事業 ③消費者活動活性化事業 ④中心市街地活性化事業 ⑤空き店舗等活用支援事業 ⑥企業誘致推進事業 ⑦民間住宅リフォーム支援・市内商業活性化事業 ⑧商店街まちづくり事業 ⑨営業推進事業
		4-3 観光の振興	①観光宣伝事業 ②観光交流センター運営事業
		4-4 雇用・勤労者対策の 充実	①雇用就業機会促進事業 ②中讃勤労者福祉サービスセンター運営助成事業 ③勤労者福祉資金貸付事業 ④持家取得促進事業
	5 環境重視、 美しくさわやかなまちづくり	5-1 環境施策の総合的推 進	①環境保全管理項目（水質・二酸化窒素・悪臭・騒音）検査事業 ②大麻山山頂等・キャンプ場清掃事業 ③環境審議会活動推進事業 ④住宅用太陽光発電システム設置推進事業 ⑤河川清掃事業 ⑥アダプション・プログラム推進事業 ⑦不法投棄監視事業 ⑧し尿収集運搬業務 ⑨環境保全啓発事業 ⑩自動車騒音常時監視事業 ⑪次世代自動車充電インフラ整備促進事業 ⑫大規模太陽光発電事業 ⑬防犯灯等LED照明導入事業
		5-2 循環型社会の形成	①市環境推進連合会活動推進事業 ②生ごみリサイクル事業
		5-3 上下水道の整備	①配水管新設事業 ②配水管改良事業 ③公共下水道工事に伴う配水管移設事業 ④基幹管路耐震化事業 ⑤配水池等建設事業 ⑥配水施設整備事業 ⑦水源地開発事業 ⑧水源施設整備事業 ⑨浄水場等運転管理業務委託事業 ⑩水道事業の健全経営 ⑪節水意識の高揚 ⑬公共下水道施設整備事業 ⑭合併浄化槽普及促進事業
		5-4 公園・緑地・水辺の 整備	①都市公園整備事業 ②公園施設整備事業 ③水辺環境整備事業 ④「善通寺五岳の里」市民集いの丘公園管理運営事業 ⑤鉢伏ふれあい公園管理運営事業 ⑦ボランティア公園整備事業
		5-5 景観の保全・整備	①道路沿線の植栽・植樹整備及び保全 ②歴史的建造物の保全 ③景観計画・景観条例の策定 ④花のまちづくり事業（フラワーバンク事業・ガーデンサポーター活動事業）
	6 安心・安全、 暮らしやすいまちづくり	6-1 道路・交通ネット ワークの整備	①南大門前にぎわい広場整備事業 ②一高西側線舗装事業 ③橋梁長寿命化修繕計画策定 ④橋梁長寿命化修繕事業 ⑤与北谷線改良事業 ⑥各線改良事業 ⑦各線舗装事業 ⑧市道修繕事業 ⑨国道・県道の整備要請 ⑩総本山国病東側線歩道整備事業 ⑪竜川小学校周辺道路整備事業
		6-2 住宅・市街地の整備	①住環境整備事業 ②老朽化住宅除却事業 ③住宅改善改修事業 ④各所排水路改修工事 ⑤民間住宅耐震対策支援事業 ⑥雨水貯留施設設置事業 ⑦香川県に対する中谷川の改修要請
		6-3 交通安全・防犯体制 の充実	①市交通対策協議会補助金交付事業 ②防犯協会補助金交付事業 ③防犯灯設置推進事業 ④交通安全施設整備事業 ⑤防犯設備設置事業
		6-4 消防・防災・救急体 制の充実	①自主防災活動支援事業 ②防災体制の強化 ③戸別受信機整備事業 ④救助工作車整備事業 ⑤高規格救急車整備事業 ⑥小型ポンプ付積載車整備事業 ⑦消防ポンプ車整備事業 ⑧消防指令広報車整備事業 ⑨消防本部庁舎・消防団屯所・防災備蓄倉庫建設整備事業 ⑩耐震性貯水槽設置事業
		6-5 情報ネットワークの 整備	①行政情報ネットワーク管理支援業務 ②ネットワーク機器保守業務 ③イントラネット光回線移行業務 ④重要データのバックアップ強化事業 ⑤インターネットサーバ管理業務 ⑥香川県高度情報化推進事業 ⑦ホームページシステム管理業務

成果指標と目標値一覧表

基本目標1 参画と協働、地方分権時代のまちづくり

基本施策	成果指標の名称	単位	平成21年度 (実績)	平成27年度 (中間目標)	平成28年度 (実績)	平成32年度 (目標)
1-1 市民主体のまちづくりの推進	市ホームページ閲覧件数	件	15,000	25,000	39,900	41,000
	市の広報・広聴活動の状況についての満足度	%	30.5	↗	-	↗
	コミュニティ活動(地域活動)・ボランティア活動への参加状況	%	23.7	↗	-	↗
1-2 男女共同参画・人権尊重社会の形成	審議会などにおける女性委員の比率	%	18.9	↗	27.3	↗
	市の男女共同参画の状況についての満足度	%	16.0	↗	-	↗
	人権講演会や研修会の開催回数	回	2	10	14	12
	人権啓発事業の実施回数	回	7	10	11	12
	市の人権尊重の状況についての満足度	%	17.4	↗	-	↗
1-3 自律する自治体経営の推進	実質公債費比率	%	15.9	↘	5.4	↘
	経常収支比率	%	89.7	↘	90.5	↘
	市税徴収率	%	93.62	↗	95.57	↗
	職員数	人	287	265	270	↗
	人件費及び人件費に準ずる費用の割合	%	23.6	↘	22.4	↘

「成果指標と目標値」の見方

○実績値・・・計画策定当初(平成21年度)における数値と、進行管理対象年度(平成27年度)における数値のうち、業務上データから取得できた数値を記載しています。
※平成21年度実績値のうち、市民満足度等のアンケート結果については、平成21年9月実施の市民アンケートによるものです。

○目標値・・・中間年度(平成27年度)と目標年度(平成32年度)において目指すべき数値です。業務上のデータや市民アンケート(満足度評価)などから取得します。目標値には成果指標の性質により、次の2つのパターンがあります。
①具体的な数値で示すもの
②方向性や満足度を矢印で示すもの
「↗」数値の増加を目指す
「⇒」数値の継続を目指す
「↘」数値の減少を目指す

基本目標2 福祉先進、だれにもやさしいまちづくり

基本施策	成果指標の名称	単位	平成21年度 (実績)	平成27年度 (中間目標)	平成28年度 (実績)	平成32年度 (目標)
2-1 子育て支援の充実	延長保育実施保育所数	箇所	7	⇒	6	⇒
	子ども・家庭支援センター利用者数	人	20,000	↗	20,839	↗
	子育て支援体制の状況	%	25.0	↗	-	↗
	子育て支援に関する活動参加希望率	%	18.2	↗	-	↗
2-2 保健・医療の充実	保健事業への参加者数	人	20,094	20,500	24,232	23,000
	各種がん検診受診率	%	32.7	40.0	19.1	50.0
	成人歯科健康診査実施数	人	147	200	151	300
2-3 高齢者福祉の充実	シルバー人材センター会員数	人	1,229	↗	1,062	↗
	要介護認定率	%	13.4	⇒	16.4	⇒
	高齢者支援体制の満足度	%	28.5	↗	-	↗
	健康維持への取組みをしている高齢者割合	%	68.0	↗	-	↗
2-4 障がい者福祉の充実	訓練等給付(就労支援など)の支給決定者数	件	27	↗	75	↗
	移動支援事業の支給決定者数	件	49	↗	67	↗
	地域活動やスポーツ・文化活動に参加している障がい者数	人	26	↗	38	↗
	相談支援事業所(身体・知的)の利用件数と実利用人数 ※	件(人)	2,847(177)	↗	8,891(225)	↗
	相談支援事業所(精神)の利用件数と実利用人数	件(人)	570(25)	↗	702(49)	↗
2-5 社会保障の充実	国民健康保険税徴収率	%	79.0	81.0	81.2	83.0
	国民健康保険税口座振替率	%	45.9	48.0	36.6	50.0
	生活保護から自立した世帯数	世帯	12	15	37	18
2-6 地域福祉の充実	福祉ボランティア登録者数	人	807	850	865	900
	ボランティア登録団体数	団体	31	33	39	35
	社会福祉協議会会員世帯	世帯	9,209	↗	8,831	↗

※相談支援事業所の利用件数のカウント方法が、H23年度に見直されたため、比較対象の元となるH21年度の実績値を修正

成果指標と目標値一覧表

基本目標3 賢と教育、人を育てるまちづくり

基本施策	成果指標の名称	単位	平成21年度 (実績)	平成27年度 (中間目標)	平成28年度 (実績)	平成32年度 (目標)
3-1 学校教育の充実	児童生徒の長期欠席率(小学校)	%	0.9		0.2	
	児童生徒の長期欠席率(中学校)	%	6.9		3.2	
	地元産品を取り入れた給食の実施回数	回	201		204	
	学校教育環境についての満足度	%	26.2		-	
3-2 生涯学習社会の確立	地区公民館利用者数	人	103,520	105,000	91,790	108,000
	市民会館利用者数	人	154,230	157,000	128,985	160,000
	図書館利用者数	人	101,089	103,000	127,900	135,000
	図書の利用者一人当たり貸し出し冊数	冊	3.8	4.0	4.5	4.5
	生涯学習関連の講座・教室の参加者数	人	7,949	8,500	5,801	9,000
	市の生涯学習環境についての満足度	%	20.1		-	
3-3 生涯スポーツの振興	体育施設利用者数	人	231,091	240,000	239,145	250,000
	社会体育事業参加者数	人	4,197		39,845	
	初心者スポーツ教室参加者数	人	89	100	74	140
	スポーツ環境の満足度	%	23.8		-	
	週1回以上スポーツ活動をしている人の割合	%	22.0		-	
3-4 青少年の健全育成	青少年補導件数	件	58		17	
	市の青少年の健全育成環境についての満足度	%	14.2		-	
3-5 地域文化の継承・創造	文化イベント参加者数	人	3,000	3,500	3,700	4,000
	文化財保護協会会員数	人	197	220	162	200
	文化活動団体登録数	団体	120	125	107	130
	市の文化芸術環境についての満足度	%	19.0		-	
	市の文化遺産の状況についての満足度	%	32.8		-	
3-6 交流活動の推進	交流事業参加者数	人	126		220	
	国内外との交流活動の状況についての満足度	%	8.3		-	

基本目標4 活力の創出、地域が活きるまちづくり

基本施策	成果指標の名称	単位	平成21年度 (実績)	平成27年度 (中間目標)	平成28年度 (実績)	平成32年度 (目標)
4-1 農林業の振興	集落営農組織(特定農業団体)数	組織	7		1	
	認定農業者数	人	42	50	55	65
	農業生産法人数	法人	8	15	15	20
	新規就農者数	人	4	6	7	8
	新規就農者育成塾修了者数	人	40		40	
	市民農園開設数	箇所	3	6	2	10
	市の農業振興についての満足度	%	7.6		-	
	担い手への農地の利用集積	ha	445	530	387	600
4-2 商工業の振興	遊休農地の面積	ha	31	15	20	0
	商店数	店	492		-	
	年間商品販売総額	万円	6,793,013		-	
	事業所数(従業員4人以上)	事業所	58		-	
	製造品出荷額等総額	万円	3,684,851		-	
4-3 観光の振興	主要観光施設入場者数	人	1,236,143		1,177,837	
	観光イベント参加者数	人	106,000		70,000	
	観光ボランティアガイド登録者数	人	0		36	
	観光交流センター利用者数	人	-		16,751	
	レンタサイクル利用台数	台	1,278		1,443	
4-4 雇用・勤労者対策の充実	中讃勤労者福祉サービスセンター会員数(普通寺市)	人	603		673	
	住宅建設等資金利子補給金交付件数	件	215		278	

成果指標と目標値一覧表

基本目標5 環境重視、美しくさわやかなまちづくり

基本施策	成果指標の名称	単位	平成21年度 (実績)	平成27年度 (中間目標)	平成28年度 (実績)	平成32年度 (目標)
5-1 環境施策の総合的推進	市のCO ₂ 排出量	t-CO ₂	2,803	2,662	3,883	
	環境関係市民団体数	団体	14		14	
	環境教育時間数	時間	12	18	8	24
	市の環境保全の状況についての満足度	%	29.5		-	
	市のし尿処理の状況についての満足度	%	35.8		-	
5-2 循環型社会の形成	市民一人当たりごみ排出量	kg	200	185	221	165
	家庭から出されるごみのうちリサイクルされている割合	%	22.1	25.0	20.8	30.0
	ごみ処理・リサイクルなどの状況についての満足度	%	60.7		-	
	環境に配慮した生活をしていると答える市民割合	%	71.7		-	
5-3 上下水道の整備	有収率	%	88.4	90.0	81.4	95.0
	老朽管の延長	m	22,410	18,000	13,115	10,000
	市の上水道の状況についての満足度	%	42.6		-	
	水洗化率	%	92.8	94.0	95.3	96.0
	市の生活排水処理の状況についての満足度	%	32.0		-	
	下水道有収率	%	83.3	85.0	86.1	87.0
5-4 公園・緑地・水辺の整備	市民1人当たり公園面積	m ²	5.76		8.67	10.00
	公園利用者数	人	53,502	70,000	166,842	100,000
	市の公園・緑地の整備状況についての満足度	%	36.2		-	
	市の親水空間の整備状況についての満足度	%	18.6		-	
5-5 景観の保全・整備	花のまちづくり事業参加市民割合	%	-	40.0	-	60.0
	本市の景観の状況についての満足度	%	37.3		-	
	保護樹木・保護樹林の指定数	本	2	10	0	10
	本市の緑化の推進状況についての満足度	%	32.8		-	

基本目標6 安心・安全、暮らしやすいまちづくり

基本施策	成果指標の名称	単位	平成21年度 (実績)	平成27年度 (中間目標)	平成28年度 (実績)	平成32年度 (目標)
6-1 道路・交通ネットワークの整備	市道改良率	%	58.2		59.5	
	市内の道路の整備状況についての満足度	%	51.0		-	
6-2 住宅・市街地の整備	市の住宅施策の状況についての満足度	%	21.5		-	
6-3 交通安全・防犯体制の充実	交通事故発生件数	件	393		251	
	刑法犯認知件数	件	424		171	
	身近な地域での防犯活動・パトロール活動に参加している人	%	8.9		-	
	市の交通安全体制についての満足度	%	23.8		-	
	市の防犯体制についての満足度	%	22.8		-	
6-4 消防・防災・救急体制の充実	応急手当(心肺蘇生法など)講習会受講者数	人	2,800	4,000	4,688	6,000
	1年間に、防火・防災訓練に参加したことがある人	%	11.2		-	
	市の消防・救急体制についての満足度	%	38.5		-	
	避難路・避難場所を知っている市民割合	%	62.1		-	
	救急救命士の数	人	15	20	21	24
6-5 情報ネットワークの整備	市の高度情報環境の状況についての満足度	%	16.9		-	
	市のホームページを見たことがある人	%	31.4		-	
	市職員に対する情報セキュリティ研修回数	回	0	1	1	2

